

東海運、スペース不足で作業費増え32%減益

Edited By LogisticsToday On 2020/05/21

東海運が21日に発表した2020年3月期の連結決算は、外航一般貨物の増加などで売上高は前年並みの420億500万円（前期比0.1%増）を確保したが、国際貨物を取り扱うコンテナヤードの改修工事や度重なる台風の影響で蔵置スペースがひっ迫し、他社施設利用が増加するなどして、営業利益は前期比32.2%減の4億4200万円に留まった。

海運部門は東京2020大会需要がピークアウトしたことでセメント船・内航一般貨物船の取り扱いが減少したものの、外航船は19年7月から新規貨物の輸送を開始したことで取扱量が増加。これに内航一般貨物船の効率配船の取り組みが加わり、部門利益が27.7%増加した。

今期の売上高は414億5300万円（1.3%減）と微減を予想するが、営業利益は回復し、6億6000万円（49.1%増）となる見通し。

■決算集計（見出し：年/決算期/四半期、[]：前年同期比、単位：百万円）	20/3/	20/3/	20/3/	20/3/
	通期	[Q	中間	[Q
	前年	前年	前年	前年
	同期	同期	同期	同期
	期比]	期比]	期比]	期比]
売上高	42,005	31,484	20,582	10,065
	[0.1%]	[-0.8%]	[0.2%]	[0.3%]
]			
営業利益	442	[-414	[-182	[-19
	32.2%]	28.4%]	32.3%]	9.6%]
最終利益	272	[-260	[-61	[-61
	16.3%]	35.5%]	3.9%]]
売上高	1.1%	1.3%	0.9%	0.2%
営業利益率				

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト： <http://www.logi-today.com>

URL to article： <http://www.logi-today.com/378048>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.